



福井労働局

～ ふくいの「働く」を支えます～

Press Release

令和7年6月23日

【照会先】

福井労働局労働基準部健康安全課

健康安全課長 澤井 乙夫

地方産業安全専門官 中野 亮

地方産業安全専門官 児玉 秀一

電 話 (0776) 22-2657

報道関係者 各位

令和7年度 全国安全週間の実施及び行事について

～ 県下一斉パトロール（全国安全週間期間中） ～
～ 安全衛生表彰（7月1日） ～

福井労働局（局長 石川良国）では、「人命尊重」の基本理念の下、企業の自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く県民の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的として、今年度も下記のとおり全国安全週間を実施します。

令和7年の福井労働局管内の労働災害の発生状況は、5月末時点（1月～5月実績）において、死亡者数が1人（昨年同時期1人）、休業4日以上之死傷者数（速報値）が282人（新型コロナウイルス関連を除く。昨年同時期269人）となっており、死傷者数は昨年同時期よりも増加しています。

安全衛生活動に関する意識の高揚を図るため、福井労働局では、全国安全週間中の取組として下記4のとおり、令和7年度福井労働局長表彰及び安全パトロールを実施します。

記

1 期間

本 週 間 令和7年7月1日～ 7月7日

（準備期間 令和7年6月1日～ 6月30日）

2 スローガン

多様な仲間と 築く安全 未来の職場

3 全国安全週間の重点事項（福井労働局）

- (1) 高年齢労働者の安全と健康確保のための取組（エイジフレンドリーガイドラインに基づく取組）の推進
- (2) 労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策（転倒災害防止対策及び腰痛予防対策）の推進
- (3) 不安全行動をなくすための安全教育の徹底や作業マニュアルの整備、さらに不安全行動による労働災害を未然に防止するための設備の設置

4 福井県内の行事

(1) 安全衛生表彰式（公開、詳細は別紙 1 を参照）

日 時 令和 7 年 7 月 1 日（火）午後 2 時 00 分～
場 所 福井春山合同庁舎 1 階 「第 1 共用会議室」
福井県福井市春山 1 丁目 1 番 54 号

(2) 福井労働局・労使団体による合同安全パトロール（公開、詳細は別紙 2 を参照）

日 時 令和 7 年 7 月 2 日（水）午前 9 時 30 分～11 時 30 分（予定）
対象事業場 戸田建設株式会社 大阪支店
セラミックコンデンサ研究開発センター及び附属棟新築工事
場 所 福井県越前市大屋町 18 字高田 1 番 1 他

(3) 労働災害防止団体による安全パトロール

県下一斉パトロール実施日：全国安全週間期間中

県内の各労働基準監督署が各労働災害防止団体と連携して、製造業、建設業、道路貨物運送業、林業等に対するパトロールを約 20 か所実施します。

【安全衛生福井労働局長表彰式】

1 目的

安全衛生成績が極めて高い水準に達し、他の模範と認められる優良事業場、長年にわたり安全衛生活動の指導的立場にあり、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人等に対し、表彰するものです。

2 日時・場所

日 時 令和7年7月1日（火）午後2時00分～

場 所 福井春山合同庁舎 1階 「第1共用会議室」
福井県福井市春山1丁目1番54号

3 表彰者

(1) 福井労働局長賞（優良賞）

種類	事業場名	所在地	業 種
安全確保対策	しんぶじこう 信武磁工株式会社 丸岡工場	坂井市丸岡町長畝 10-7-2	機械（精密機械を除く）器具製造業
	平成31年4月以降無災害、無災害記録50万時間为目标に掲げており、令和7年3月31日現在475,905時間（946日）を達成しています（現在も継続中）。 また、重大労災事故、不休労災事故、環境事故、長期病欠、交通加害及び自損事故の発生をそれぞれ0を実行目標として安全衛生活動を行っています。 設備の導入時においては、安全審査会を開催しリスクアセスメントの実施や安全対策について検討し、安全対策の実施後に設備を設置しているほか、社内で実施しているボトムアップ活動と連携し労働者からの意見を反映させるよう対策を行っています。 また、化学物質についてはクリエイトシンプル（化学物質のリスクアセスメント支援ツール）のほか、保護具の選定についてリスクアセスメントの実施結果及び不浸透性の評価等を行った上で作業標準書に定め関係労働者に周知し、現場作業員からの意見聴取を行い作業回数及び作業時間を減らす取組を実施しています。 ヒヤリハット事例を積極的に収集し、全事業場についてその都度事業者、工場長、本人及び直属上司によるヒアリングを行い対策を講じる体制を構築しています。本取組については、事例の対象者が委縮しないような聞き方を工夫し、管理面に問題はなかったかを把握して対応を行っています。また、本措置に対応するため、階層別教育を実施し、コミュニケーション及びハラスメント教育を実施しています。 毎朝、定例的に実施しているラジオ体操実施後に信越グループ独自の転倒防止体操を実施し、高年齢労働者の転倒防止対策につなげています。この取組が躓き		

	防止に寄与し転倒による災害（不慮災害を含む）は発生していません。 補修等の際に臨時で立ち入る他社の労働者に対しても、入場時教育を行い独自ルール等の遵守に向けた教育指導を行っています。 報奨を伴う改善提案制度を設けたことにより、設備改善等に関する提案が積極的に提出されるようになるなど、労使が積極的に災害防止に取り組んでいます。挙げられた提案については、本人等に対応結果及び対応状況を通知し、労働者の積極性の向上につなげる取組も認められます。
--	---

（２）福井労働局長賞（優良賞）

	事業場名	所在地	業 種
	株式会社 J-POWER ハイテック 発電事業本部 中日本統括セン ター 九頭竜事業所	大野市長野 36-17	電気通信工事業
安全確保対策	平成 16 年 7 月 21 日以降、無災害です。 保守点検について、設備全体の不具合を危険度や予算に応じてリスク評価し、中長期の設備更新計画を立てています。 工事が発注されると工事ごとのリスクアセスメントを実施しています。 有機溶剤や特定化学物質は使用していませんが、危険・有害性のある化学物質を使用する際には工事ごとのリスクアセスメントとは別にリスク評価しており、自律的な化学物質管理にも取り組んでいます。 労働組合をメンバーに加えた「安全衛生推進委員会」を組織し、安全衛生について労働者からの意見も取り入れながら、労使一体の安全衛生活動に取り組んでいます。 保守点検やメンテナンス作業を請け負う協力会社を含めた「安全衛生推進協議会」を組織し、構内を定期的に巡視した結果を踏まえて災害や事故につながる危険箇所を明示した「重大リスクマップ」を作成し、関係者に情報共有しています。協力会社を含めた安全管理活動の推進、安全意識の高揚、スキルアップに努めています。また、危険のある個所や作業については現場作業員がその場から報告できるように、事業場内の各所に Q R コードを掲示してヒヤリハット報告の体制づくりに努めています。		

(3) 福井労働局長賞 (奨励賞)

	事業場名	所在地	業 種
	にっぽん だ む 日本ダム株式会社 本社・工場	福井市清水杉谷町 45-163	織物業
安全確保対策	会社独自に 5 S 委員会を設置し、毎月委員会を開催し、職場環境改善と業務改善を兼ねた活動を実施しています。構成委員には管理者と一般労働者にパート労働者等も加えるなど、より現場の実情に応じた改善が行われるよう、労使が一体となって創意工夫した取組を実施しています。 また、一般労働者及びパート労働者毎に毎月メンバーを入れ替わりで参加させることにより、委員となった者に自分の担当職場以外(前工程及び後工程を含む) の取組状況を確認させた上で必要な改善提案を行わせるなど、事業場全体の安全衛生意識の高揚に向けて創意工夫した取組が行われています。 工場内については広域にわたってバリアフリー対策を導入し、段差の解消及び躓き防止対策を講じるなど、ハード面の転倒防止対策に積極的に取り組んでいます。 また、年に 1 回程度労働者全員が参加する運動テスト活動を行い、労働者に自身の運動機能状態の認識を持たせるなど、ソフト面の転倒防止対策にも積極的に取り組んでいます。 工場内の主要な扉に反対側が見えるように加工を施すほか、片方が扉を開けようとすると反対側にランプが点灯する仕組みなどを講じるなど、創意工夫した積極的な衝突防止及び転倒防止対策に取り組んでいます。 年に 1 回、定期的に外部講師 (安全コンサルタント等) を活用し、社内で、安全衛生講習会を開催し、労働者の安全衛生意識の高揚を図っています。		

(4) 福井労働局長賞 (奨励賞)

	事業場名	所在地	業 種
	しんえつせきえい 信越石英株式会社 武生工場	越前市北府 2-13-60	窯業土石製品 製造業
安全確保対策	平成 18 年以降、無災害であり、令和 5 年 5 月に 15 万時間休業無災害を達成しており現在も継続中です。 毎年全国安全週間準備期間の 6 月に労働者からヒヤリハット及び安全提案書の提出を求めており、令和 6 年度は提出されたそれぞれ約 70 件の内容を確認し、事故の型別の統計を取り分析を行うとともに、提出された事案のうちリスクレベル 段階の 以上に該当するものについて同種災害発生防止対策を講じています。ヒヤリハットや安全提案書を提出する労働者がそれぞれリスクアセスメントを実施し、さらにその内容を会社で精査する方法を取っています。各部門においても年に 7 ～ 8 回程度リスクアセスメントを実施し、リスクアセスメント審議委員会で報告しています。 毎年 7 月に安全衛生委員会メンバーで使用者と労働組合が協力して職場巡視を実施しており、指摘事項については処置前及び処置後について写真で管理しています。 出入りする業者（清掃や工事、定期点検など）に対して年 1 回協力業者安全教育を実施し、出入り業者の構内におけるルールの定着を図っています。 OHSAS（労働安全衛生マネジメントシステム）を導入し独自に運用しています。 2 年に 1 回、6 つある工場が相互に安全監査を行っています。 他工場で発生した災害については関係労働者に速やかに情報提供を行っています。 健康体力づくり委員会が設置され、ボウリング、ソフトボール、バスハイク等のイベントを年 3 回リーダーが中心となって開催しています。		

(5) 福井労働局長賞 (奨励賞)

	事業場名	所在地	業 種
	つるがあさひどけん 敦賀 旭 土建株式会社	敦賀市三島 2 丁目 3-17	土木工事業
安全確保対策	平成 14 年 1 月 11 日以降、無災害です。 年間の安全衛生管理活動計画表に沿って安全衛生管理活動を実施しており、昨年度計画した事項について年度内にすべて達成しています。 リスクアセスメントについては、工事受注後に工事の工程に沿って、関係請負人の労働者を含めた作業員全員参加型で網羅的にリスクの抽出作業を行い、毎月実施する現場の安全協議会の中でリスクの抽出漏れ等がないかどうか確認し、作業手順書の作成及び毎作業日に実施する作業前 K Y 活動につなげています。 毎月代表者自らが現場に赴き現場パトロールを実施しています。 工事の安全対策にデジタル技術を積極的に活用しており、現場内にカメラを設置、港湾作業現場の潜水土に対して水中カメラにて作業内容がリアルタイムで遠隔モニターにて確認できる取組を実施しています。それにより従来作業の特性上潜水土の作業については水中であり、作業ごとに定めた作業手順書の手順遵守状況及び不安全行動を行っていないか確認する手段がなかったものが可視化され現場の安全管理に活用されています。なお、上記対策の実績を評価され国土交通大臣より「令和 6 年度 インフラ D X 大賞 優秀賞」を受賞しています。 関係請負人の労働者を含め安全教育に V R を活用しており、社内教育のみならず定期的に実施している中学生の職場体験などにも活用しています。V R を活用することにより、若手の教育のみならずベテラン作業員からも積極的な発言が出るようになり、世代間の意見交換に一役を買っていると認識しており、継続的に活動を実施しています。		

(6) 福井労働局長賞 (奨励賞)

	事業場名	所在地	業 種
	株式会社アイケープラス	敦賀市昴生野 62 号 56 番 2	化学工業
安全確保対策	平成 30 年 3 月 26 日以降、無災害です。 安全衛生管理活動計画 (教育訓練等含む) を前年度末 (3 月) に策定、当該計画に基づき継続的な安全衛生管理活動を実施しています。 毎年約 200 件のヒヤリハット報告 (少なくとも一人 1 件以上、安全のみならず品質含む) が事業場内で挙げられており、リスク抽出の参考にするとともに当該改善が必要とされるものについては該当部署を改善責任署として決定、改善を図るまでの体制が構築・運用されています。 毎月 1 回安全パトロールを複数グループにて実施しており、部署間を超えて相互確認を行うとともに、改善を要する事項のみならず、当該作業場所における好事例について評価する、各職場で掲げている指差呼称をすべきところで適切に指差呼称が行われているか等の確認も行うなど実効性のあるものとなっています。 また、当該パトロール結果は報告会において共有され、現場改善が図られるまで安全衛生事務局にて管理、改善措置に漏れのないような体制が整備されています (改善に日数を要するものであれば、暫定的な措置も検討し、対策を行うよう運用されています)。 同業種等で関連性の高い労働災害について、作業員全員に周知を図るとともに、必要に応じて上記同様の措置を講じ安全対策を図っています。 毎年、事業場内では全労働者より安全スローガンの募集を行っており、当該入賞者には表彰とともに金一封が贈られる体制になっており、労働者の意欲向上が図られています。 全国安全週間や全国労働衛生週間において、当該スローガンの掲示や職員全員に当該活動の趣旨や重点項目の周知を図ることで、労使一体で安全活動に取り組む意識を高めています。 高年齢労働者や一人作業を行う労働者に専用端末 (Me マモーレ) を装着させ、万が一転倒した場合 (転倒検知) や動けなくなった場合 (静止検知) 等に管理者に通報が入り、早期の安全確保措置を講じることができる体制づくりが構築されています。 腰痛予防対策としては、時々発生する重量物 (約 10kg 程度) 取扱作業に対し、専用の補助リフターの導入やアシストスーツを作業者に着用させる等の取組が認められ、また、行動災害防止の観点 (健康増進含む) から、日々作業前にラジオ体操を実施する等積極的な安全の取組が行われています。		

～ 各賞の内容 ～

○福井労働局長賞

(1) 優良賞

地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場又は企業に対する表彰です。

(2) 奨励賞

地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場又は企業に対する表彰です。

【福井労働局・労使団体による合同安全パトロール】

1 目的

全国安全週間を契機に、県内のあらゆる職場における安全衛生活動に関する意識の高揚を図ることを目的として、行政及び労使が一体となり、合同パトロールを実施するものです。

2 実施日時 令和7年7月2日(水) 午前9時30分～11時30分(予定)

3 対象事業場 戸田建設株式会社 大阪支店

4 実施場所 セラミックコンデンサ研究開発センター及び付属棟新築工事
(越前市大屋町18字高田1番1他)

5 参加予定者 福井労働局(局長、健康安全課長、地方産業安全専門官)
日本労働組合総連合会福井県連合会(会長、政策部長)
福井県経営者協会(副会長、専務理事)

6 スケジュール	午前9時30分	集合(戸田建設事務所2階会議室)
	午前9時40分	工事概要・作業概要等説明(施工者)
	午前10時00分	<移動>
	午前10時12分	作業所朝礼会場に全員集合
	午前10時15分	福井労働局長挨拶
		日本労働組合総連合会福井県連合会会長挨拶
		福井経営者協会副会長挨拶
		福井村田製作所代表者挨拶
	午前10時30分	現場巡視開始
	午前11時10分	現場巡視終了
		<移動>
	午前11時15分	集合(戸田建設事務所2階会議室)
		講評 日本労働組合総連合会福井県連合会
		講評 福井経営者協会
		講評 健康安全課長
		意見交換(施主・施工者等)
	午前11時30分	終了

7 報道機関の皆様へのお願い

取材に当たり、以下のとおりお願いします。

- (1) 工事現場の駐車場にお越しいただければ、戸田建設事務所 2 階会議室まで御案内します。取材は午前 9 時 40 分に予定する工事概要、作業概要等の説明からとなりますので、それ以前の撮影等は御遠慮ください。
- (2) 当日の御質問は福井労働局職員に対するパトロールの実施内容に限らせていただきます。パトロールの実施内容に関係のない施工業者への御質問は御遠慮ください。
- (3) 建設現場ですので、取材の場合には、作業服などの動きやすい服装、保護帽（ヘルメット）の着用をお願いします（保護帽等の貸出は行いません。各自御準備ください。）
- (4) 安全のため、現場内では工事関係者の指示に従っていただき巡視経路以外のところには入らないようお願いします。
- (5) 取材いただける場合には、6 月 26 日（木）午後 5 時 00 分までに当課（健康安全課）あてに御連絡いただきますようお願いいたします。御連絡をいただいた後に工事現場の駐車場等をご案内いたします。
- (6) 荒天の場合には合同パトロールを中止することもあります。中止する場合は前日午後 5 時 00 分までに当課から御連絡します。